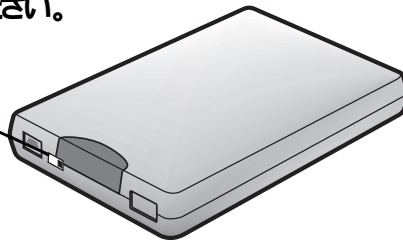
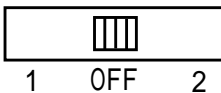
仮想 CD ユーティリティの使いかた

仮想CDユーティリティは、本製品の中に仮想CD-ROMドライブを作成するソフトです。パソコンから実際のCD-ROMドライブと同じように使用できますので、実際のCD-ROMドライブやCDを持ち運ぶ必要がなくなります。

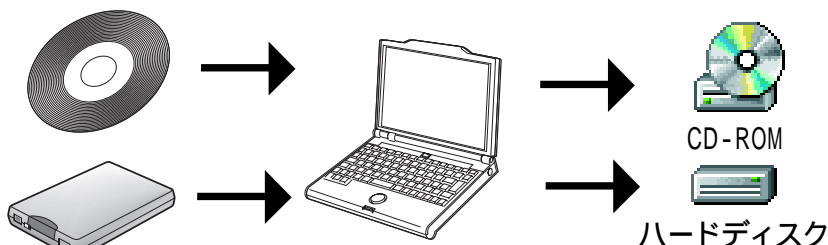
⚠注意

- **このソフトは本製品（HD-PHBU2シリーズ）専用です。他のハードディスクではお使いになれません。**
- **このソフトは、Macintosh環境では使用できません。Windowsにのみ対応しています。**
- **WindowsXP/2000をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。**
- **仮想CDユーティリティを使用するときは、本製品を2台以上取り付けないでください。2台以上取り付けると、正常に認識できないことがあります。**
- **ブートCDやプログラムが自動起動するCDを仮想CDとしてお使いになる場合、お使いの環境によっては正常にブートしなかったり、自動起動しないことがあります。**

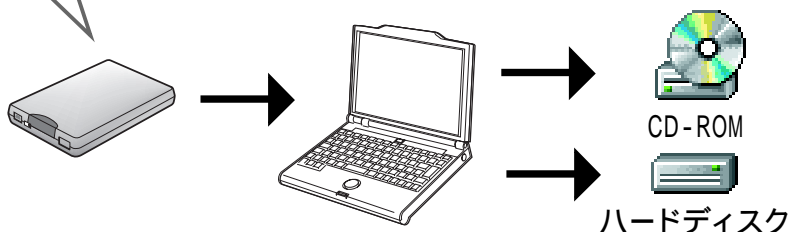
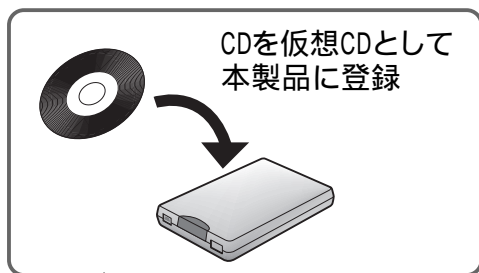
CD ドライブモード変更スイッチについて

仮想CDユーティリティを使用するときは、パソコンに接続する前に本製品のCDドライブモード変更スイッチを設定する必要があります。初めて使用する（仮想CD領域を作成する）ときやCDを登録するときは「OFF」に、登録したCDを使用したい場合は「2」に設定してください。

仮想 CD ユーティリティの概要

■通常は・・・

CDをパソコンで使用するには実際のCDが必要です。さらに、CD-ROMドライブを搭載していないパソコンでは、CD-ROMドライブも必要となります。

CDと本製品を使用するには、どちらともパソコンにセットする必要があります。

■仮想 CD ユーティリティを使うと

本製品が、ハードディスクとCDの役割をするため、CDの持ち運びが不要です。本製品をパソコンに接続すると、ハードディスクと CD-ROMドライブが認識されます。

本製品をパソコンに接続すればCDも認識されます。

対応 CD

本ソフトでCDイメージを作成できるCDは以下のとおりです。

DVDや音楽CD、コピープロテクトの施されたCDには対応しておりません。

●物理フォーマット

CD-ROM Mode1

● 論理フォーマット

ISO9660、MS-DOS準拠、Joliet、ハイブリッド(Windows領域のみ抽出可能)

● ディスクの種類

CD-R/RW、CD-ROM

※ 1セッション、1トラックのCDのみ対応です。

※ セッションがクローズされていないCD-R/RWには対応しておりません。

※ パケットライトされたCD-R/RWには対応しておりません。

※ 700MBより大きい容量のCDには対応しておりません。

仮想 CD ユーティリティを使用する前に

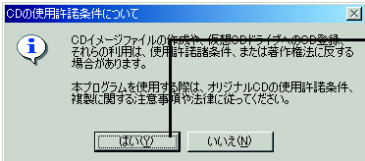
仮想CDユーティリティを使う前に、本製品に記録されているデータをあらかじめ他のハードディスクなどにバックアップしてください。仮想CDユーティリティで次のことを行なった場合、本製品に保存されているデータがすべて削除されます。

●初めて仮想CDユーティリティをご使用になる(仮想CDの領域を確保した)場合

● 出荷時の状態に戻した場合

※ ハードディスクを初めて使用する場合やハードディスクにデータが保存されていないときは、バックアップの必要はありません。

初めて使用する場合（仮想 CD 領域の作成）

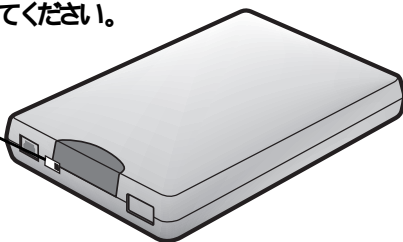
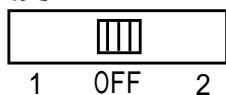
はじめに本製品の中に仮想CDの領域を作成します。この作業を行わないと、本ソフトを使用できません。

> **⚠注意**
> **・本製品に保存されているデータはすべて削除されます。データが保存されている場合は、事前に他のハードディスクなどにバックアップしてください。**
> **・仮想CDの領域として700MB使用しますので、ハードディスクとして使用できる領域が約700MB減少します。**

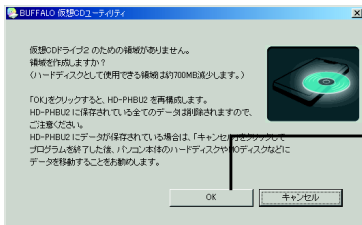
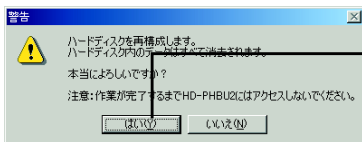
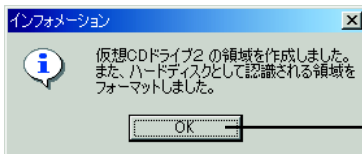
1　**本製品のCDドライブモード変更スイッチが「OFF」になっていることを確認して、パソコンに接続します。**

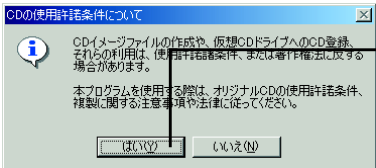
「OFF」になっていない場合は、本製品を一度取り外してCDドライブモード変更スイッチを「OFF」にし、再度接続してください。

2　**[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[HD-PHBU2]-[仮想CDユーティリティ]を選択します。**

仮想CDユーティリティが起動します。

3

内容を確認し、同意できる場合は[はい]をクリックします。

※　[はい]をクリックしないと本ソフトを使用できません。

以上で仮想CD領域の作成は完了です。
次に仮想CDを登録する手順を行います。続いて画面が表示されますので、次ページの手順4以降を参照して仮想CDを登録してください。

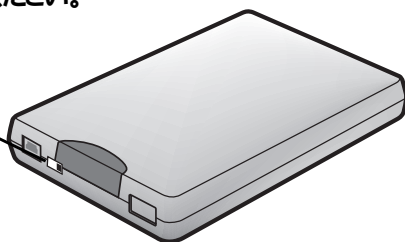
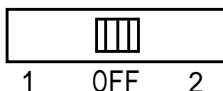
新しいCDを登録する（CD-ROMドライブから仮想CDを登録する）

パソコンのCD-ROMドライブにセットされているCD-ROMを本製品に登録する手順を説明します。

1 **本製品のCDドライブモード変更スイッチが「OFF」になっていることを確認して、パソコンに接続します。**

「OFF」になっていない場合は、本製品を一度取り外してCDドライブモード変更スイッチを「OFF」にし、再度接続してください。

2 **[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[HD-PHBU2]-[仮想CDユーティリティ]を選択します。**

仮想CDユーティリティが起動します。

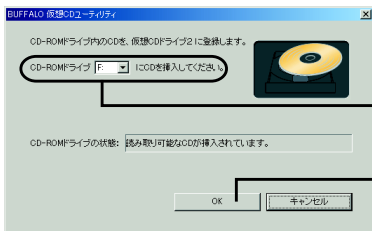
3

内容を確認し、同意できる場合は[はい]をクリックします。

※ [はい]をクリックしないと本ソフトを使用できません。

4

[新しいCDを登録する]をクリックします。

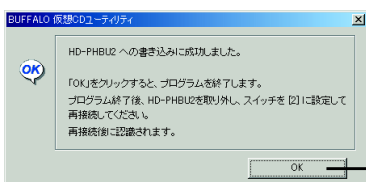
次頁へ続く

6

①登録したいCDをパソコンにセットします。

②CDをセットしたドライブを選択します。

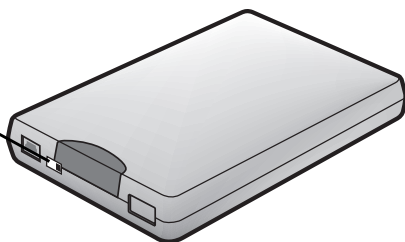
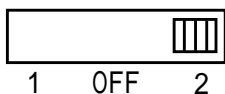
③[OK]をクリックします。

⚠注意　登録できないCDがセットされている場合や、CDをセットしていない場合などは次の手順に進めません。「CD-ROMドライブの状態」に表示されるメッセージを参照してください。

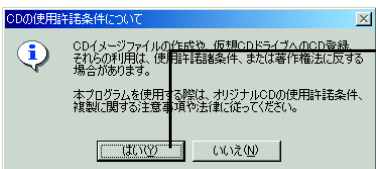
7

[OK]をクリックします。

8

本製品を取り外し、CDドライブモード変更スイッチを「2」にします。

9

本製品をパソコンに接続します。

以上で、仮想CDの登録は完了です。登録したCDが認識されます。

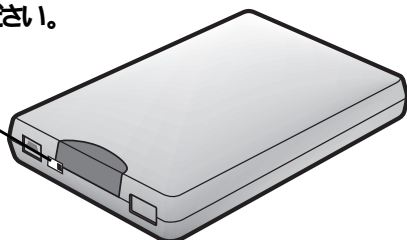
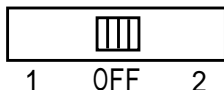
CD イメージを作成する

パソコンのCD-ROMドライブにセットされているCDからCDイメージを作成する手順を説明します。CDイメージを作成しておけば、仮想CDの登録時に実際のCDを用意する必要がなくなります。

1 **本製品のCDドライブモード変更スイッチが「OFF」になっていることを確認して、パソコンに接続します。**

「OFF」になっていない場合は、本製品を一度取り外してCDドライブモード変更スイッチを「OFF」にし、再度接続してください。

2 **[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[HD-PHBU2]-[仮想CDユーティリティ]を選択します。**

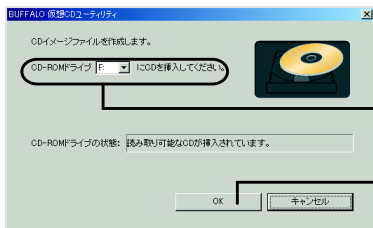
仮想CDユーティリティが起動します。

3

内容を確認し、同意できる場合は[はい]をクリックします。

※ [はい]をクリックしないと本ソフトを使用できません。

[CDイメージを作成する]をクリックします。

次頁へ続く

5

①CDイメージにしたいCDをパソコンにセットします。

②CDをセットしたドライブを選択します。

③[OK]をクリックします。

⚠注意 CDイメージを作成できないCDがセットされている場合や、CDをセットしていない場合などは次の手順に進めません。「CD-ROMドライブの状態」に表示されるメッセージを参照してください。

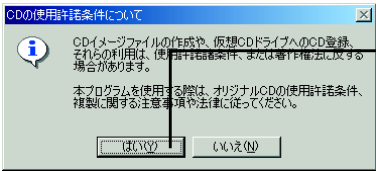
6

「作成するCDイメージファイルに名前を付けてください。」と表示されたら、ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

7

「CDイメージファイルの作成に成功しました」と表示されたら、[OK]]をクリックします。

以上で、CDイメージファイルの作成は完了です。
作成したCDイメージファイルを登録する手順は、次ページを参照してください。

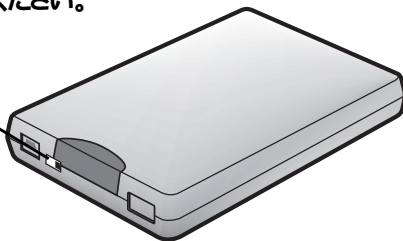
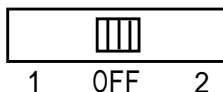
作成済みの CD イメージを登録する

作成済みのCDイメージを本製品に登録する手順を説明します。

1 **本製品のCDドライブモード変更スイッチが「OFF」になっていることを確認して、パソコンに接続します。**

「OFF」になっていない場合は、本製品を一度取り外してCDドライブモード変更スイッチを「OFF」にし、再度接続してください。

2 **[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[HD-PHBU2]-[仮想CDユーティリティ]を選択します。**

仮想CDユーティリティが起動します。

3

内容を確認し、同意できる場合は[はい]をクリックします。

※ [はい]をクリックしないと本ソフトを使用できません。

4

[作成済みのCDイメージを登録する]をクリックします。

次頁へ続く

6 「イメージ作成済みのCDを仮想CD2に登録します。CDイメージファイルを選んでください。」と表示されたら、登録するCDイメージファイルを選択して[開く]をクリックします。

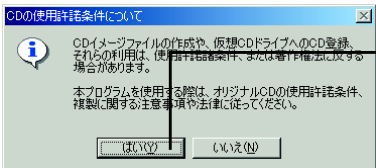
7

8 本製品を取り外し、CDドライブモード変更スイッチを「2」にします。

9 本製品をパソコンに接続します。

以上で、仮想CDの登録は完了です。

出荷時状態に戻す(仮想CD領域の削除)

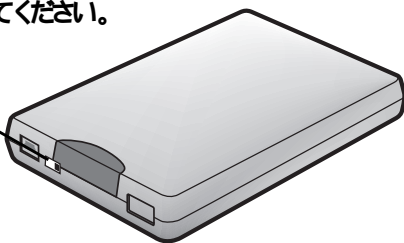
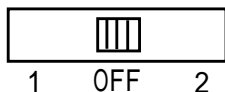
仮想CDの領域を削除したい場合は、以下の手順を行ってください。

> **⚠注意** ・本製品に保存されているデータはすべて削除されます。データが保存されている場合は、事前に他のハードディスクなどにバックアップしてください。

1 **本製品のCDドライブモード変更スイッチが「OFF」になっていることを確認して、パソコンに接続します。**

「OFF」になっていない場合は、本製品を一度取り外してCDドライブモード変更スイッチを「OFF」にし、再度接続してください。

2 **[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[HD-PHBU2]-[仮想CDユーティリティ]を選択します。**

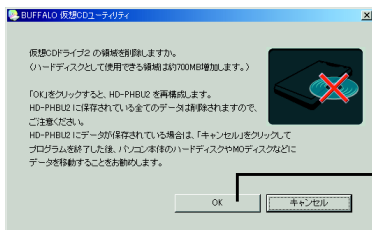
仮想CDユーティリティが起動します。

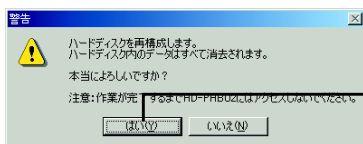
3

内容を確認し、同意できる場合は[はい]をクリックします。

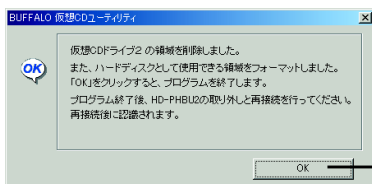
※ [はい]をクリックしないと本ソフトを使用できません。

4

[出荷時状態に戻す]をクリックします。

5

内容をよく確認し、[OK]をクリックします。

6

内容をよく確認し、[はい]をクリックします。

7

[OK]をクリックします。

8 **本製品を取り外し再度接続します。**

9 **本製品をパソコンに接続します。**

以上で、仮想CDの登録は完了です。

仮想CDユーティリティを削除するには

仮想CDユーティリティを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

注意 仮想CDユーティリティを削除すると、同時に省電力ユーティリティも削除されます。

1. [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[HD-PHBU2]-[アンインストーラ]を選択します。

2. 「仮想CDユーティリティ、省電力ユーティリティをアンインストールします」と表示されたら、[OK]をクリックします。

3. 「ソフトウェアのアンインストールが正常に終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上で仮想CDユーティリティの削除は完了です。

困ったときは

● **CDが登録できない**

本製品のCDドライブモード変更スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。「OFF」になっていない場合は、本製品を取り外してCDドライブモード変更スイッチを「OFF」にした後、再度接続してください。

● **登録したCDが認識されない**

本製品のCDドライブモード変更スイッチが「2」になっていることを確認してください。「2」になっていない場合は、本製品を取り外してCDドライブモード変更スイッチを「2」にした後、再度接続してください。

● **プログラムが自動起動するCDを登録しても、プログラムが自動起動しない**

お使いの環境によってプログラムが自動起動しないことがあります。自動起動しない場合は、実際のCDをお使いください。

● **ブートCDを登録してもブートできない**

お使いのパソコンがUSB CD-ROMからのブートに対応していない場合は、ブートできません。また、CDによってブートできないことがあります。ブートしない場合は、実際のCDをお使いください。

● **登録したCDは認識されるが、ハードディスクが認識されない（Windows2000）**

Windows2000 Service Pack 2以前をお使いの場合、本製品のCDドライブモード変更スイッチを「2」に設定するとハードディスクが認識されません。ハードディスクを使用する場合は、CDドライブモード変更スイッチを「OFF」にしてお使いください。